



くわた 恭子通信

<http://kyoko.moo.jp>
zxkyoko@yahoo.co.jp

[無所属]

発行日 令和元年7月22日
発行者 広島市議会議員
くわた 恭子
〒731-5153 佐伯区河内南2-30-2
TEL929-2930 FAX929-2928
OPEN 9時~17時(月~金)

地域の皆様、お世話になります。広島市議会議員のくわた恭子です。先日の統一選挙では5123票を頂き当選することができました。本当にありがとうございます。投票率が非常に低く、ゆずりでも前回の得票を上回る事ができたことは本当にうれしく感謝しております。選挙期間中、多くの方から応援の声を頂かれ、また、握手もさせて頂き、候補者としてはとても勇気づけられ、9日間の選挙を充実して行うことができました。再び議会に乗り、改めて1人1人の支援に感謝し、仕事をまいります。4期目、中堅議員の役割を果たしていきたいと思います。これからもご支援、よろしくお願い致します。

さて、通信52号を発行いたしました。6月定例議会の報告が中心です。参議院選挙期間中は、通信も発行できない状態になってしまいました。



4/8当選証書交付
5122人の中から当選
ありがとうございます!!

議会改革は進むのか 議員報酬5%削減は否決!

市長も議会も4年任期の初めての議会です。議会初日市長は所信表明で4年間の政策の方針を述べます。いくつかの政策の一つに、4年間の市長、副市長、教育長など特別職職員の給与を5%削減する条例案が出されました。理由は、行政改革を推進する一環としてだけです。削減額は224万4千円です。この議案をうけ、4年前の平成27年6月議会最終日に、市議会議員も議員報酬5%削減の議案を全会一致で可決しています。

今議会、議員報酬削減の動きはなく、各会派の幹事長の会議では、「いつまで市長に追随して議員報酬削減を行うのか」「本来なら議会改革で議員の報酬全体を議論するべきだ」との意見が出されたと聞きました。まったくその通りなのですが、これまで議会改革推進会議で議員の身分にかかわることは、平成18年度に議員定数を60人から55人に削減したこと(議員定数5人削減は、今思えばよく実現できたと思う)平成19年度、日本一高額だった費用弁償1日11,000円を8キロメートルを境に5千円と8千円に減額したことで、これ以降議会改革推進会議は継続していますが特に実現したものはありません。

議会最終日2つの議案を提案しました。

議員の報酬5%削減

財政の厳しさは改善していない。更に、

平成26年8月、平成30年7月と大きな災害が発生し、復興は始まったばかりである事

議会改革を進める決議

不測の事態に対し一時的に議員報酬

削減を行うことは今後もあると思うが、議員の報酬、費用弁償など議員活動に係る経費の見直しを議会改革推進会議で行い、今期前半を目どに結論を出すこと

2案とも、否決です

結論は、2案とも否決されました。議員報酬削減には、反対討論もあつた。内容は、先に述べた報酬削減とは、議会改革で議論するものとの事ですか。続いて提案した議会改革を進める決議案も否決されてしまいました。これにはおどろき、ショックでした。もう1ヶ月時間をかけ、議長会派から提案して貰えば、可決できたのか... 議会改革推進会議の委員長は議長会派から選出されました。改革が進んでいくことを期待して!

皆様の意見を聞かせて下さい。

アストラムライン五月が丘を通る

平成31年度、環境影響評価の調査費8500万円が計上され、佐伯区、五月が丘に2駅、石内東に1駅を含む6駅の場所とルートが示された。7月中旬には地元説明を行う。総事業費570億円の事業が静に動き出す。平成20年度、実態調査を行い平成24年度推計した利用予測は、平成42年度に五月が丘から毎日3000人が利用するとの試算、費用対効果はあるとしています。今回の調査費で利用予測は、最近の利用者数を加味し修正しますが、アストラムライン全体の利用者数が新白島駅が稼働し伸びているので利用者数は更に多く試算されるのではと思っています。

秋葉市長の時、公共工事見直しで一旦凍結されたアストラムライン延伸は、松井市長になり延伸ルートなど見直し、西広島駅接続を事業決定しました。約10年後、佐伯区をアストラムラインが通過します延伸による街の発展を期待する声もあると聞きますが、私はこの事業に反対なのです。

①元々、甘い計画で借金体質の事業、延伸の予測も信ぴょう性がないこと。

②延伸区間は不便な単線であること。

③事業費が高額過ぎること。

市内の公共交通利用者数は1日約60万人＝JR21万人バス18万人・電車15万人・アストラム6万人です。

6万人を1万5千人増やすのに570億円かけようとしています。

本当に費用対効果があるのか疑問なのです。

サッカースタジアム建設

5/30、市長、知事、広島商工会議所会頭の3者によるトップ会談が開かれスタジアム建設場所を中央公園とする基本方針を決定、議会には資料を配布説明はありませんでした。

6月議会スタジアムの意見を聞く会の予算、80万6千円計上されました。有識者20人程度を集め、全体会は2回職員が個々の委員に聞き取りを行い意見をまとめ基本計画を作るとの事。更に3者による建設促進会議も設置財源確保の重要案件の決定機関です。

スタジアム建設には賛成ですが、概算事業費190億円、採算の取れる施設であることが前提です。今まで市民が建設の過程がわかるオープンな議論を求めてきましたがそれはありません。また、スタジアムの建設場所が決定したことを受け、旧市民球場を含む中央公園全体の活用についても有識者会議が設置されました。基本的には平成27年1月に出された計画を重視屋根付きのイベント広場です。将来、文化芸術施設が建設できるスペースは残すとの答弁でした。

投票率はどこまで下がるのか 佐伯区投票率38.17%!

佐伯区44箇所中、上位5箇所、下位5箇所

	投票所	有権者	投票者	投票率
上位5箇所	白川集会所	71	51	71.83%
	美鈴が丘東街区集会所	4,296	2,415	56.22%
	美鈴が丘西街区集会所	3,972	2,136	53.78%
	新宮山荘	807	395	48.95%
	五月が丘小学校体育館	3,175	1,445	45.51%
	彩が丘公民館	3,256	1,325	40.69%
下位5箇所	五日市小学校体育館	3,390	1,090	32.15%
	五日市観音小学校体育館	5,920	1,812	30.61%
	三和中学校体育館	4,412	1,350	30.60%
	五日市中学校体育館	2,786	847	30.40%
	石内北小学校体育館	1,361	385	28.29%
	湯来地区	5,245	2,930	55.86%
		112,880	43,085	38.17%

平成31年4月7日、統一地方選挙の投票日、当確が出たのは23時近くになって、何とか当選出来てみんなでホッと一安心、深夜なので小さく万歳をして別れました。選挙の結果は、現職1人が落選代わりに元職が再選を果たされた。

投票率の低下に歯止めがかからない平成27年度の選挙で広島過去最低41.7%と報道されたが、今回は更に低下し、広島市全体で36.53%佐伯区でも38.17%と前回よりも6.8ポイント5950人、投票者数が減っている。

そもそも県議会においては8区中安佐南と東区を除く6区が無投票佐伯区も結局無投票となり、投票率をさらに下げる一因となったと思う。